

ポリマーセメント系断面修復材 ライオンGRLC

(旧)日本道路公団「断面修復材の品質規格」適合品

ライオンGRLCとは

超速硬セメントをベースにしたグラスファイバー入りのポリマーセメントモルタルで、以下のような優れた特長を有するコンクリート断面修復材です。

ライオンGRLCの特長

- 1.強い接着性**
セメントモルタルに比べて接着力に優れ、既設のコンクリートと強く接着します。
- 2.ひび割れ、剥離がほとんどない**
無収縮性で接着力が強いいため、ひび割れ、剥離が生じにくい。
- 3.短時間で実用強度が発現**
3～5時間で実用強度に達する（気温20℃以上）ので、緊急の工事に適しています。
- 4.耐透水性・防水効果が抜群**
非常に緻密な硬化体を形成しますので耐透水性に優れ、雨水や酸性ガス等の侵入による下地コンクリートの鉄筋の腐食を防止します。
- 5.優れた耐久性**
無機質系の特殊材料を主成分としているため、物性は長期にわたって安定しており、耐久性、耐候性に優れ、また引火性や毒性もありません。
- 6.施工が容易**
従来の左官工法と同様にコテ塗りができ、特殊な工法を必要としません。

ライオンGRLCの用途

コンクリート構造物の欠損部の断面修復。

取り扱い上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用して下さい。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流して下さい。



A材 プレミックスモルタル 25kg袋
(天然珪砂をドライミックス)



C材 特殊ポリマーエマルジョン 18kg缶

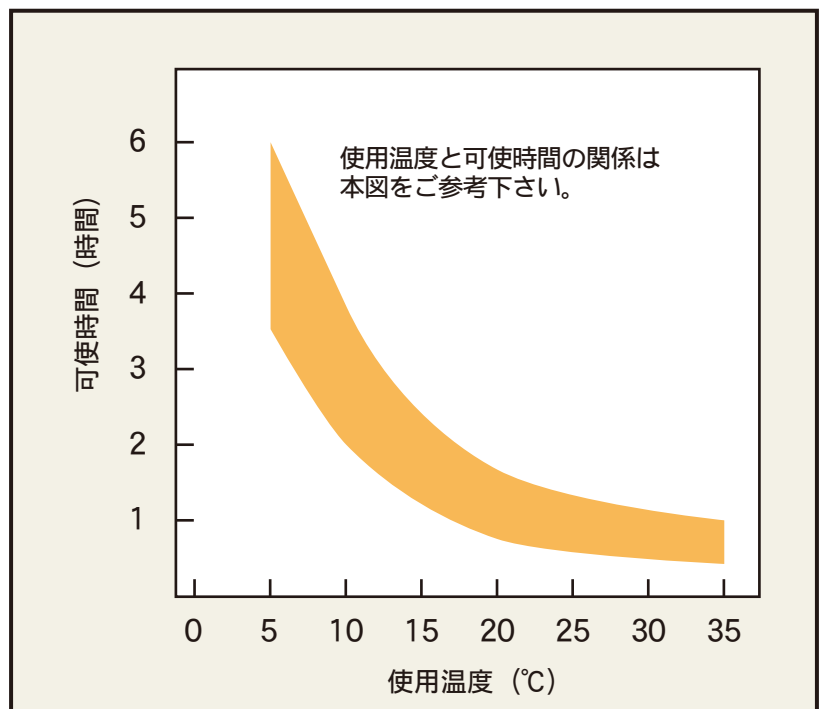
ライオンGRLCの標準配合

●A材と特殊ポリマーエマルジョンのC材と水を加え練り混ぜて使用します。

材 料	配 合	
	A材 1袋当り	1m ³ 当り
A 材	25kg (1袋)	1,626kg (約65袋)
C 材	1.65kg	107kg
水	2.2ℓ～2.4ℓ	150ℓ

※ライオンGRLC1袋を上記配合で混練すると、練り上がり量は約16リットルとなり、塗厚10mmの場合、約1.6m²塗れます。

ライオンGRLCの可使用時間



ライオンGRLCの 施工要領概要

下地処理

- 施工面の浮き、脆弱箇所、油性分等を除去します。
- 鉄筋部分は錆を落とし、防錆剤を塗布します。
- 下地コンクリートを十分に水洗いし、湿潤状態に保って下さい。
- 下地コンクリートの施工面積が大きく又、吸水の激しい箇所では、ライオンポンドA(当社製アクリルプライマー)を塗布して下さい。
- 天井面にはエポキシ系のコンクリート打ち継ぎ材を使用しますと施工し易くなります。また脆弱な下地に使用しますと付着強度が増します。

計量・混練

- 配合表を目安に、C材と清水をバケツに入れ、よくかき混ぜて混練水を作ります。
- ミキサーにGRLCの粉体を投入後、混練水を徐々に注ぎながら、2~3分間混練して下さい。

GRLCの塗布

- 金ゴテ等で下地に3~5mm厚みでGRLCをしごき塗りして下さい。
- しごき塗りを行った上に追っかけてGRLCを塗り仕上げして下さい。塗り厚は20mm厚み程度とし、それを超える場合は、先に塗り付けたGRLCがしまってから塗り重ねて下さい。

養生

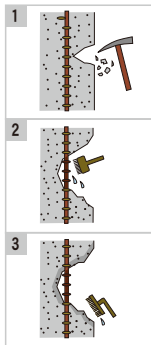
- 施工後は直射日光、風等が当たらないようにシートがけ養生を行って下さい。また、冬期は保温養生を心がけて下さい。

施工上の注意

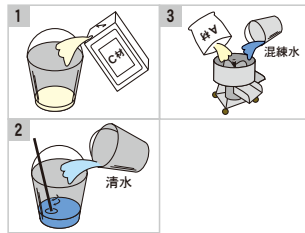
1. ライオンGRLCには、ポルトランドセメント等、他の材料は一切混入しないで下さい。
2. 開封した材料は使い切るようにして下さい。
3. 過度の混練は避けて下さい。
4. C材をプライマーがわりに使わないで下さい。
5. 5℃以下での施工は避けて下さい。
6. 一度凍結した材料は、絶対に使用しないで下さい。

施工方法

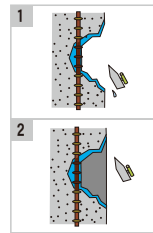
1. 下地処理



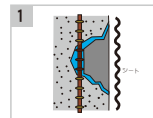
2. 計量・混練



3. GRLCの塗布



4. 養生



施工例



ライオンGRLCの物性の一例

項目	材 齢	5° C	20° C	試験方法
圧縮強度 (N/mm ²)	5時間	—	7.2	JIS5201 セメントモルタルの強さ 試験方法に準ずる。
	1日	13.7	13.8	
	7日	20.1	21.2	
	28日	28.1	28.6	
曲げ強度 (N/mm ²)	5時間	—	2.9	JIS5201 セメントモルタルの強さ 試験方法に準ずる。
	1日	4.7	4.6	
	7日	5.4	5.8	
	28日	6.2	6.7	
付着強度 (N/mm ²)	1日	1.4	1.5	JISA6909 建築用仕上げ 塗材に準ずる。
	7日	2.1	2.3	
硬化体比重	—	1.80~2.00		JISA1110 粗骨材の比重及び吸水率 試験方法に準ずる。
乾燥収縮 (×10 ⁻⁴)	28日	4.7		JISA1129 モルタル及び コンクリートの長さ変化 試験方法に準ずる。
凍結融解性	—	300サイクル異常なし		ASTMC666 コンクリートの凍結融解 試験方法に準ずる。
表面水分 (%)	1日	8.0	6.1	誘電率式水分計で測定
	7日	6.2	4.3	

注1) 上記のデータは当社で評価した代表値であり、品質保証値ではありません。

使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東 京 〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル20F)
大 阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
名 古 屋 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
札 幌 支 店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F)
東 北 支 店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30ビル3F)
北 陸 支 店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
四 国 支 店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
広 島 支 店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
福 岡 支 店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(6370)2721 Fax 03(6370)2759
電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は